

平成28年度公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート（1）

（区分）**国補**・県単

事業名	田園交流基盤整備事業（国補）		事業箇所	北杜市長坂町		地区名	長坂	事業主体	山梨県
(1)事業着手年度	H14年度	(2)事業期間	H14年度～H23年度	(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	2,293百万円		
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等			
<p>本地区はハヶ岳南麓に位置し、国蝶オオムラサキの生息が日本一という自然環境と富士山や南アルプスを望む景観に優れた地域であり、農業は環境省の名水百選にも指定された豊富な湧水とため池の利用による水田稲作が中心である。</p> <p>しかしながら、担い手の高齢化、後継者不足等に起因する地域力の低下が懸念されていた。</p> <p>これらの課題を解決し、地域の活性化を図っていくためには、地区内に多数点在する日本名水百選に選ばれた湧水群等の地域資源を活用した地域住民や都市住民を呼び込んだ都市農村交流の促進が必要である。</p> <p>本事業は、農村の有する豊かな自然、伝統、文化等の多面的機能を見直し、農業集落間を連絡し、都市と地域との交流による新たな人の流れの創造、集落間のアクセス向上、通行車両等の安全性の確保を図ることを目的に実施した。</p>						（省略）			
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果									
<p>（事前評価未実施）</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 <p><input type="checkbox"/> 副次目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者等の安全性の確保 <p><input type="checkbox"/> 副次効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時の避難・救助機能の確保 ・ 農林産物の販売促進 									
(7)整備内容（目標達成の方法）									
<p>農道工 延長L=3,200m 幅員W=7.00m 道路区分3種4級 設計速度40km/h</p>									

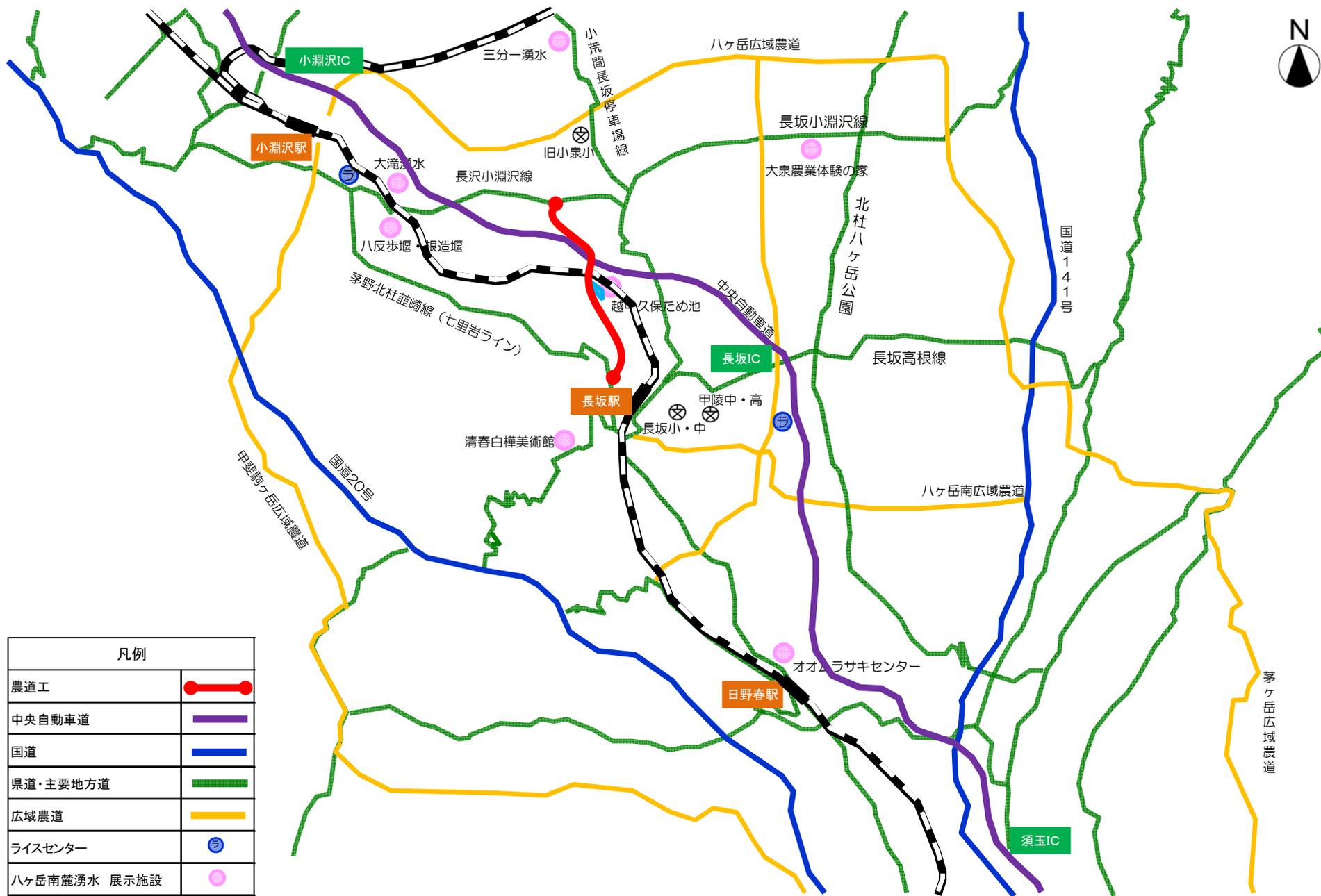
2. 評価シート（1）

<p>(1)事業貢献度 < (良) ・ 不良 ></p> <p>(理由) 農道が整備されたことにより、集落間の往来や湧水群等の地域資源へのアクセスが容易になり、地域内に新たに人を呼び込むなどの都市と農村との交流が促進され、地域の活性化が図られるとともに、生活道路として利便性の向上に大きく貢献している。</p> <p>① 主要目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">指標</th> <th style="width:30%;">着手時点数値等</th> <th style="width:30%;">評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全幅員4.0m以上道路延長率</td> <td>43.8%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の完成により3.2kmが幅員4m以上に改良され、幅員4m以上道路延長率が100%となった。 <p>全幅員4.0m以上道路延長率 = 対象路線の全幅員4.0m以上の道路延長(3.2km) / 対象路線の全体延長(3.2km)</p> <p>② 副次目標 歩行者等の安全性の確保</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">指標</th> <th style="width:30%;">着手時点数値等</th> <th style="width:30%;">評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通学路の指定</td> <td>通学路なし</td> <td>通学路指定あり</td> </tr> <tr> <td>現況の歩道幅員</td> <td>—</td> <td>2.0m</td> </tr> </tbody> </table> <p>□評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や教育委員会と協議し、歩道を設置したことで、小学校の通学路等として利用され、歩行者の安全性確保に効果を発揮している。 <p>③ 副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">項目</th> <th style="width:70%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急時の避難・救助機能の確保</td> <td>北社市防災計画で位置づけられている緊急輸送路を連結する路線であり、緊急輸送路を補完するものである。</td> </tr> <tr> <td>農林産物の販売促進</td> <td>地域の情報発信拠点である三分一湧水館への来館者の増加とともに、農産物の販売が促進されている。</td> </tr> </tbody> </table>	指標	着手時点数値等	評価時点数値	全幅員4.0m以上道路延長率	43.8%	100%	指標	着手時点数値等	評価時点数値	通学路の指定	通学路なし	通学路指定あり	現況の歩道幅員	—	2.0m	項目	内容	緊急時の避難・救助機能の確保	北社市防災計画で位置づけられている緊急輸送路を連結する路線であり、緊急輸送路を補完するものである。	農林産物の販売促進	地域の情報発信拠点である三分一湧水館への来館者の増加とともに、農産物の販売が促進されている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < (有) ・ 無 ></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項目</th> <th style="width:30%;">着手時点の計画</th> <th style="width:50%;">事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,708百万円</td> <td>2,293百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H14~H20</td> <td>H14~H23</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,708百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>1,933百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,384百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,659百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成19年度再評価実施地区 総事業費1,957百万円、工期H14~H21に見直し</p> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費：JR中央線及び中央自動車道を横断する橋梁架設方法について、JR東日本及びNEXCO中日本と協議した結果、安全性及び、運行・通行への影響に配慮した工法としたため、事業費が増額となった。 ・ 工期：上記の協議調整や工法変更に伴う適正な工期の確保のため、工期が延長となった。 <p>(3)事業実施による環境の変化</p> <p>① 自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 切土高の小さい箇所は土羽構造とし、法面に植生工を施工することで、周辺自然環境との調和が図られている。 <p>② 生活・居住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道間のアクセスが向上し、地域住民の生活交通の利便性が高まっている。 <p>③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(4)社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響</p> <p>① 社会経済状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>③ 事業環境等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,708百万円	2,293百万円	工期	H14~H20	H14~H23	経済効率性	費用	1,708百万円	便益	1,933百万円	B/C	1.13			2,384百万円			2,659百万円			1.12
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																													
全幅員4.0m以上道路延長率	43.8%	100%																																													
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																													
通学路の指定	通学路なし	通学路指定あり																																													
現況の歩道幅員	—	2.0m																																													
項目	内容																																														
緊急時の避難・救助機能の確保	北社市防災計画で位置づけられている緊急輸送路を連結する路線であり、緊急輸送路を補完するものである。																																														
農林産物の販売促進	地域の情報発信拠点である三分一湧水館への来館者の増加とともに、農産物の販売が促進されている。																																														
項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																													
総事業費	1,708百万円	2,293百万円																																													
工期	H14~H20	H14~H23																																													
経済効率性	費用	1,708百万円																																													
	便益	1,933百万円																																													
	B/C	1.13																																													
		2,384百万円																																													
		2,659百万円																																													
		1.12																																													

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由) <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落間や拠点施設へのアクセス向上により都市と農村との交流が促進され、また老朽化していたJRの跨線橋を改修することにより通行車両の安全性が確保されるなど、十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： </p>	<p>(理由) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的反映策) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし </p></p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的改善策) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(既の実施した改善策の内容と効果) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし </p></p></p>	<p>(理由) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(具体的反映策) <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし </p></p>

田園交流基盤整備事業 長坂地区



添付資料シート(2)

着手前：既設の跨線橋、跨道橋は幅員も狭く、通行に苦慮しており、地域が分断されていた。



①JR中央線跨線橋



完成後：跨線橋、跨道橋の架け替えにより車両の対面通行が可能になり、地域間の円滑な交流が促進されている。



②中央自動車道跨道橋



添付資料シート(3)



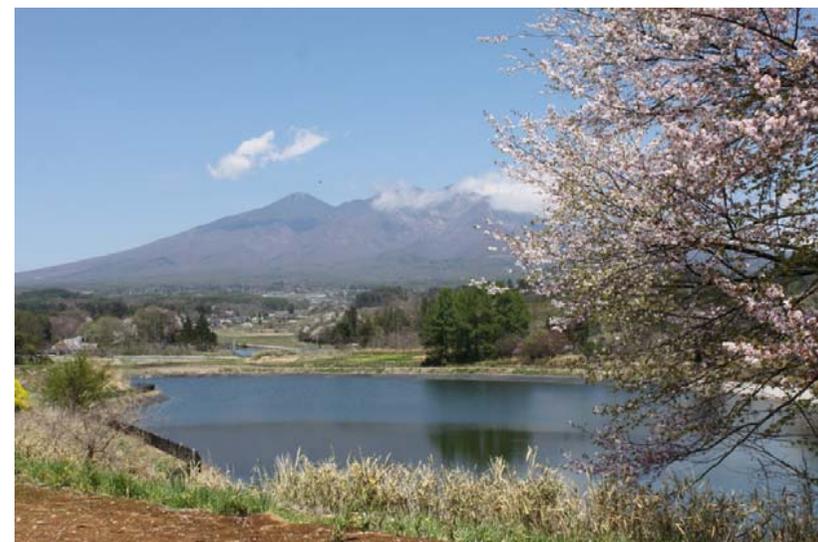
観光客で賑わう三分一湧水館・農産物直売所



日本名水百選にも選ばれている三分一湧水



沿線の観光地を散策する観光客



沿線の景観散策スポット（越中久保ため池からのハヶ岳）